

学校だより 「花里の子」

令和7年度 第14号（令和7年11月10日）

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子

避難訓練（火災）を行いました

10月27日に2学期の避難訓練を行いました。今回は、理科室からの出火を想定し、避難経路2を使って避難しました。子どもたちは、「お・は・し・も」（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない）の合い言葉に従って、落ち着いて避難することができました。避難した後も、先生のお話を一生懸命に聞き、最後まで集中して訓練に参加していた子どもたち。「自分の命を自分で守る」という意識が育ってきているように感じました。

防災は、地域と共に取り組むことが大切です。3学期には、地域の防災訓練も計画されています。ぜひ、お子様と一緒に参加していただき、子どもたちが地域防災の取組を知り、自分の命を守るためには、どのように行動すべきかを考えるきっかけを与えていただければと思います。

ご家庭でも、防災に関する身近なニュースを取り上げ、命を守る方法について話し合ってみてください。小さな積み重ねが、子どもたちの大きな安心につながります。いざという時、子どもたちが適切に判断するための選択肢づくりにご協力をお願いいたします。



音楽会に向けて体育館練習開始



11月5日から音楽会に向けての体育館練習が始まりました。これまでクラスごとに音楽室で練習してきましたが、これからは、学年が揃って、ブラッシュアップの時間となります。一人ひとりが、友だちの声や音を聴き、自分の演奏に磨きをかけます。そして、学年のハーモニーに仕上げていく大切な時間です。互いの頑張りを認め合い、励まし合って、花里の子らしいやさしさ溢れる演奏を披露してくれることを願っています。

下級生が練習に集中できるようにと、体育館練習開始の前日に6年生が準備をしてくれました。マットや跳び箱、卓球台等を体育倉庫に収納し、楽器が搬入できるようにシートを敷いてくれました。行事のたびに力を発揮してくれる6年生ですが、このような作業も、間もなく5年生に引き継がれます。

消防署に行ってきました（3年生）

火災の避難訓練の翌日、3年生が西消防署に社会見学に出かけました。

消防署では、消防士さんが伊丹市の消防について説明してくださったり、救急車や消防車のことを教えてくださいました。それぞれの車に装備されている物や人を助けるための工夫を興味をもって学ぶことができました。はしご車のゴンドラに先生が代表で試乗しましたが、子どもたちからは、思わず「いいなあ・・・」と本音が聞こえました。

見学して分かったことや気づいたことを日常の生活と関係づけて、その仕組みや工夫を理解してほしいです。



はなさとオータムフェスタ

11月2日(日)に本校の運動場で、花里小学校区自治協議会主催の「はなさとオータムフェスタ」が開催されました。

気球体験にも350人以上の方の参加がありました。あと少しというところで、風が出てきてしまい終了となりました。本校PTAの出店や金管バンドクラブの演奏もありました。

たくさん子どもたちが秋のひとときを楽しんでいました。自治協の行事は、いつも子どもたちを中心において考えてくださり、感謝しています。今後も、地域と家庭と学校による**ONE HANASATO**の協育をよろしくお願いいたします。

